

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 会長 中野利勝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は各漁協青壮年部の皆様方をはじめ、系統団体や行政の皆様方には多大なご協力、ご高配を賜り誠にありがとうございました。書面を借りてお礼を申し上げます。本年もより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

私たち漁青連は、現在の水産業界の厳しい現状を乗り切るため、若い力と知恵を出し合い、漁協・関係団体と協力体制のもと一丸となって邁進し、漁業・漁村の活性化に寄与することを第一義に活動を行っております。このため、研修会の開催等によりリーダーシップのとれる青壮年部員の養成に努めております。

我が水産業界では、昨年70年振りの漁業法改正が行われ、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化に向けた改革の議論が行われました。

この改革の議論においては、漁業権制度の維持が示され、共同漁業権が従来通りJFやJF漁連に免許されることなど、我々漁業者やJFが果たしてきた役割が明確に定められたところです。

一方、今後の運用については、政省令等によるところが多いことから、浜の将来を支える青年漁業者が納得・共有し、改革の実践を担えるよう、引き続きJF全青連等を通じ国と協議し、また丁寧な説明を求めてまいりたいと考えております。

また、県内におきましては、県内JF全体で基盤強化アクションプランに取り組んでいるところですが、県内JFの事業・組織体制については、改善が図られた部分もあれば、まだまだ課題等が残されている部分もあると認識しております。

漁協青壮年部員が柔軟な発想と若い力を集結して、本県水産業の発展に努力し先輩方が残して下さった漁業を後世まで受け継いでいく使命があると認識しております。

漁青連・各漁協青壮年部活動をより一層活性化させ、強固な組織としていくために、今後とも皆様方のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康と航海の安全・大漁を祈念しまして念頭の挨拶と致します。

